

3 学 期	「論理分析」 ・具体と抽象を理解し、文章の構成 や論理の展開を的確に捉える。	「論理分析」 『日本語は世界をこのように捉え る』 教材プリント	授業への取り組み方を基に、学 びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価 する。	○	○	○	20
	「書いて伝える」 ・論理展開や文章の構造、表現に留 意しながら、自分の意見を的確に伝 える。	「書いて伝える」 『社会に対する意見文を書く』 教材プリント					合計
							70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

教科：国語 科目：国語文化 単位数：2
 対象学年組：第2学年 A組
 教科担当者：（A組：井上康佑）
 使用教科書：自主教材

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】国語で表現された内容や事柄を的確に理解する資質・能力を育成する。
 【思考力、判断力、表現力等】国語で表現された様々な事物・経験・思い・考えなどを理解し、自らの考えなどを形成
 【学びに向かう力、人間性等】言語を手掛かりとしながら創造的・論理的に思考する力や深く共感したり、
 科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
国語で表現された内容を的確に理解する資質・能力を養うとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	国語で表現された内容を的確に理解し、共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、自らの思いや考えを形成し、表現する力を育む。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、読書の意義を認識し、生涯にわたって読書に親しむ態度を養う。また我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	言語の歴史を学び、言語文化の担い手としての自覚を持つ。 和歌を通して言語文化に親しみを持つ。	「平仮名の誕生」 教材プリント 「和歌」 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』 教材プリント	①古典作品の歴史的・文化的背景を理解している。 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ②文章の種類を踏まえて、内容について叙述をもとに的確に捉えている。	○	○	○	20
	古典作品の文学史をたどり、歴史的・文化的背景を理解する。 情報を適切に収集し、整理する。文章の構成に留意し、意見文を書く。	「古典文学史」 教材プリント 「社会に対する意見文を書く」 教材プリント	①古典作品の歴史的・文化的背景を理解している。 ②文章の種類を踏まえて、内容について叙述をもとに的確に捉えている。 ③言語文化の担い手としての自覚を持ち、古典作品に親しもうとしている。	○	○	○	
2 学 期	スピーチやプレゼンテーションを通して言葉で表現する力を身につける。 平易な古典作品を読み、歴史的・文化的背景を理解する。	「スピーチで意見を伝える」 教材プリント 「様々なジャンルの作品を読む」 「物語文学」「随筆」「日記文学」 教材プリント	①話し言葉と書き言葉の特徴や役割を理解し、活用している。 ②自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成を工夫している。 資料や機器を効果的に用いるなど、相手の理解を得るために表現を工夫している。 ③表現を工夫しながら自身の考えを表現している。	○	○	○	30
	漢文で書かれた作品に親しむとともに、日本語とのかかわりを理解する。	「故事成語」 『五十歩百歩』『矛盾』 『狐借虎威』 教材プリント	①訓読の決まりを理解している。 作品の歴史的・文化的背景を理解している。 ②文章の種類を踏まえて、内容を的確に読み取っている。 ③主体的に漢文を訓読し、内容を読み取ろうとしている。	○	○	○	
3 学 期	小説を読み、登場人物の心情を読み取る方法を学ぶとともに、読書に親しむ姿勢を育む。	『羅生門』 『今昔物語集』 教材プリント	①本文中の重要語句や漢字を理解し、自らの言語活動に用いている。 ②文章の内容や構成を的確に捉え、登場人物の心情を読み取っている。 ③主体的に作品に向き合い、関連する他の作品にも親しもうとしている。	○	○	○	20
	合計						

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科地理歴史 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2

対象学年組：第1学年 組～組

教科担当者：（組：仁上）（組：仁上）

使用教科書：（帝国書院『高等学校 新地理総合』）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決し

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通し

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第1章 地図と地理情報システム	1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類	①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を	○	○	○	4
	第2章 結び付きを深める現代世界	1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野	○	○	○	4
	中間考査			○	○		
	第1章 生活文化の多様性と国際理解	序説 生活文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 3節 世界の言語・宗教と人々の生活	①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化	○	○	○	16
	期末考査			○			
2 学期	第1章 生活文化の多様性と国際理解	4節 歴史的背景と人々の生活 5節 世界の産業と人々の生活	①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化	○	○	○	11
	中間考査						
	第2章 地球的課題と国際協力	1節 複雑に絡み合う地球的課題 2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 人口問題 5節 食料問題 6節 都市・居住問題	①世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題	○	○	○	19
	期末考査						

3 学 期	第1章 自然環境と防災	1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災 3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え	①我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。				12
	第2章 生活圏の調査と地域の展望	1節 生活圏の調査と地域の展望	①生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 ②生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に資する取り組みを				4
							合計

学年末考査

教科：公民

科目：公共

単位数：2

対象学年組：第2学年 A組～組

教科担当者：(A組：島袋恒男 (組：) (組： (組：) (組： (組：)

使用教科書：()

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】諸資料から、様々な情報を適切かつ、効果的に調べる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 公共

の目標：

1学期	2学期	3学期
学習活動するために必要となる力を養う。	公正に判断する力や社会参加意識を養う。	主体的に解決しようとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【公共の扉】 (1) 公共の空間を作る私たち (2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方	・人間としての在り方について関心を高め、課題を意欲的に追究する態度を養う。 ・時事問題 ・ワークシート ・ICT活用 ・確認テスト	□自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・ワークシート ・確認テスト ・時事問題	○	○	○	5
	B 単元 【自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	□主として法に関わる事項 ①法や規範の意義及び役割 ②契約及び消費者の権利と責任 ③司法参加の意義 □主として政治にかかわる事項 ①地方自治 地方公共団体 □主として経済に関わる事項	□自立した主体として解決が求められている具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら学習活動に参加する。 ・ワークシート ・確認テスト ・時事問題	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	C 単元 【持続可能な社会づくりの主体となる私たち】	□課題探求学習 ・時事問題 ・ワークシート ・ICT活用 ・確認テスト	□持続可能な社会づくりについて、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・ワークシート ・確認テスト ・時事問題	○	○	○	6
		・人間としての在り方について関心を高め、課題を意欲的に追究する態度を養う。 ・時事問題 ・ワークシート ・ICT活用 ・確認テスト	・プレゼンテーション	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	B 単元 【自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	□主として法に関わる事項 ①法や規範の意義及び役割 ②契約及び消費者の権利と責任 ③司法参加の意義 ④主権者教育	□自立した主体として解決が求められている具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら学習活動に参加する。 ・ワークシート ・確認テスト ・時事問題	○	○	○	12
		□主として政治にかかわる事項 ①地方自治 ②地方公共団体 □主として経済に関わる事項 ①金融機関 ②銀行取引 ③金融経済教育	・出前授業 金融経済教育 I	○	○	○	12

3 学 期	C 単元 【持続可能な社会づくりの主体となる 私たち】	□課題探求学習 ・時事問題 ・ワークシート ・ICT活用 ・確認テスト	□持続可能な社会づくりについて、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・ワークシート ・確認テスト ・時事問題	○	○	○	12	
				○	○	○	3	
								合計
								64

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科家庭科 家庭総合

教科：家庭科 科目：家庭総合 単位数：4
 対象学年組：第2学年 A組～組
 教科担当者：(組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書：(東京書籍 家庭総合 自立・共生・創造)
 教科 家庭科 の目標：

- 【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営み、生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題
- 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに

科目 家庭総合 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	生涯を見通す	人生を展望する、目標を持って生きる	生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察する。				4	
	持続可能な生活を営む	持続可能な社会を目指して、一人一人の力で社会を動かす	持続可能な社会へ参画することの意義について理解を深めている。	○	○	○		
	経済生活を営む	情報の収集・比較と意思決定、購入・支払いのルールと方法、消費者の権利と責任、生涯の経済生活を見通す、家計をマネジメントする、これからの経済生活	自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう、責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	15	
2 学期	人生をつくる	人生をつくる、家族・家庭を見つめる、これからの家庭生活と社会	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度	○	○	○	13	
	子どもと共に育つ	命を育む、子どもの育つ力を知る、子どもと関わる、子どもとの触れ合いから学ぶ、これからの保育環境	子どもの健やかな発達を支えるために、子どもとの適切なかかわり方について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	21	
3 学期	超高齢社会を共に生きる	超高齢・大衆長寿社会の到来、高齢期の心身の特徴、高齢者の自立を支える、これからの超高齢社会	高齢者の心身の状況に応じて適切にかかわるための生活支援に関する技能を身に付けている。	○	○	○	12	
	共に生き、共に支える	私たちの生活と福祉、社会保障の考え方、共に生きる	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度	○	○	○	5	
							合計	70

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科家庭科 家庭総合

教科：家庭科 科目：家庭総合 単位数：4
 対象学年組：第3学年 A組～組
 教科担当者：(組：) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書：()

教科 家庭科 の目標：
 【知識及び技能】
 【思考力、判断力、表現力等】
 【学びに向かう力、人間性等】

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	生活に生かそう、「ホームプロジェクト」	自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	1	
	食生活をつくる	食生活の課題について考える、食事と栄養・食品、食品の選択と安全、生涯の健康を見通した食事計画	ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養の特徴について理解している。 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとする実践的な態度	○	○	○	18	
2 学期	食生活をつくる	調理の基礎、食生活の文化と知恵、これからの食生活	主体的に食生活を営むことができるよう健康に配慮した自己と家族の食事について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	12	
	衣生活をつくる	被服の役割を考える、被服を入手する、被服を管理する、被服を作る、衣生活の文化と知恵、これからの衣生活	衣生活を取り巻く課題など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 被服構成について科学的に理解している。	○	○	○	24	
3 学期	住生活をつくる	住生活の変遷と住居の機能、安全で快適な住生活の計画、住生活の文化と知恵、これからの住生活	主体的に住生活を営むことができるよう防災などの安全に配慮した住生活とまちづくりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	12	
	これからの生活を創造する	生活をデザインする	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度	○	○	○	3	
							合計	70

教科：芸術

科目：音楽

単位数：2

対象学年組：第3学年 A組

教科担当者：(A組：小林正彦 B組：)

使用教科書：(教育芸術社 高校生の音楽 I)

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるよう

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を

科目 音楽 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などと	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなも

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 斉唱・合唱 【知識及び技能】 曲想と歌詞との関わりについて理解している 技能 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している	・指導事項 校歌、翼をください、少年時代、この道、野ばら、君と見た海 ・教材 教科書 ・LCTの活用	【知識・技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】親しみや	○	○	○	16
	B 単元 鑑賞 【知識及び技能】各時代の音楽の特徴と文化的・歴史的背景を理解している。各時代の音楽家の生涯を正しく理解し、社会との関わりや音楽家の心情を理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】その	・指導事項 ルネサンス、古典派、ロマン派、近代音楽 ・教材 教科書 ・LCTの活用	【知識・技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャー、構成など	○	○	○	14
2 学期	A 単元 斉唱・合唱 【知識及び技能】 曲想と歌詞との関わりについて理解している 技能 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している	・指導事項 サンタルチア、虹、ホールニューワールド、 ・教材 教科書 ・LCTの活用	【知識・技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】親しみや	○	○	○	15
	B 単元 器楽 【知識及び技能】楽器の持つ特性を理解し、音階や曲が正しい指で正確に弾くことができる。 楽器の構造や性能を理解することにより、その楽器にふさわしい技術を習得し、練習に参加することができる。	・指導事項 音階と和音、エリゼのために ・教材 キーボード ・LCTの活用	【知識・技能】表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。 【思考・判断・表現】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャー、強弱、形式、構成などを知覚し、それらの働きを感受しな	○	○	○	13
3 学期	A 単元 斉唱・合唱 【知識及び技能】 曲想と歌詞との関わりについて理解している 技能 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している	・指導事項 流浪の民、ベートーヴェン第九、 ・教材 教科書 ・LCTの活用	【知識・技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】親しみや	○	○	○	6
	B 単元 鑑賞 【知識及び技能】各時代の音楽の特徴と文化的・歴史的背景を理解している。各時代の音楽家の生涯を正しく理解し、社会との関わりや音楽家の心情を理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】その	・指導事項 バレエ、ミュージカル、オペラ ・教材 教科書 ・LCTの活用	【知識・技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャー、構成など	○	○	○	6 合計 70

都立江戸川高等学校 令和6年度（1・3学年用） 芸術 美術

教科：芸術

科目：美術

単位数：2

対象学年組：第1学年 A組・3rdA組

教科担当者：（A組・蔭山正人）

（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（高校生美術1 116～日文 美1-702）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】幅広い美術の知識を備え、そこから湧き出て来る豊富なイマジネーションを実現し、それを

【思考力、判断力、表現力等】美術の授業によって導き出されて来る美意識を高め、その確立された判断基準のもとに思考

【学びに向かう力、人間性等】高い美意識を確立し、それを実現するための強いモチベーションを培い、向上心を持って学

科目 美術科

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
幅広い美術の知識を備え、そこから湧き出て来る豊富なイマジネーションを実現し、それを日常生活にも活用出来るようにする為の高度な技能を修得する。	美術の授業によって導き出されて来る美意識を高め、その確立された判断基準のもとに思考力を高めより高い表現力を生み出せる様にする。	高い美意識を確立し、それを実現するための強いモチベーションを培い、向上心を持って学びに向かえるような素晴らしい人間性を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	一年間のガイダンス	一年間を通しての美術の授業での授業方針を示し、芸術の本質論を提議する。プリントによる自己紹介や意欲の有無、大小を確認する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	2
	鉛筆デッサン □	鉛筆の使い方・グラデーションの描き方・立体の表現の仕方・拡大縮小の方法・プリント配布・etc.	【知識・技能】グラデーションの意味を理解し、美しく仕上げられるか。鉛筆の特徴を把握し、適切にコントロールしながら美しく表現出来るか。 【思考・判断・表現】出来るだけ均一な平面表現ができるか。空間が適切に把握出来るか。	○	○	○	6
	一点透視図法	遠近法の修得・プリント配布	【知識・技能】透視図法の理解・美しくしあ	○	○		2
	自分の手の描写 □	自分の手を二つ組み合わせ、何か意味のあるような空間を精密な描写で表現する。	【知識・技能】手の理解。骨格間接の理解。鉛筆の使い方 【思考・判断・表現】美しく構成できている。独創的である。 【主体的に学習に取り組む態度】十分に完成出来ている。	○	○	○	6
	メタモルフォーゼ	アニメ制作の一助となる為のパズル・プリント配布	【知識・技能】より多彩な身の回りの対象物を表現できる。誰がみてもそれと分かるぐらい的表現ができる。 【思考・判断・表現】形の違う別物間での中間的表現（イメージ）が出来る。またそれを表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】十分に完成出来ている。	○	○	○	4
2 学 期	ペンによる創造的細密描写 スクラッチ 塑造	0.3ミリのペンで、極小の簡単な幾何学的模様を書き込むことにより、まるで生物が増殖する様な表現を構成する。 金色の下地に黒色をかぶせた紙を引っ掻くことにより、図鑑にある動物を表現する。	【知識・技能】同じ動作の細かい繰り返し・ 【思考・判断・表現】思考や判断を捨て去ってしまったところに出て来る無意識からの思いがけない表現を楽しむ。 【主体的に学習に取り組む態度】単調な作業をいかに粘り強く進められるか。				20
	プッシュステンド	自分の生活環境の中の一部を切り取り、それを平面に描き替え、スタンドグラス風に表現する	【知識・技能】自分のまわりの世界を想像し、イメージの中の物を平面に表現する。 【思考・判断・表現】自分という生活圏の中でも多様な世界観の存在することを認識する。それを平面的に美しく表現する。				12
				○	○		

3 学 期	パッケージデザイン	500ミリ牛乳パックのようなものを自作し、自分で考えた架空の飲料水のパッケージデザインをする。	【知識・技能】 立方体の容器の展開図をつくり、創り出したい内容物の構成や、他人に理解出来るような効果的な表現方法を考える。 【思考・判断・表現】 コピーだけではなく、色彩や、文字の大きさやフォントの種類によって世界が変化する				6
	コラージュ	週刊誌等雑誌の興味のある面白い部分を丁寧に切り抜き、画用紙に構成して貼り付け、何らかの主張性のある平面画に仕上げる	【知識・技能】 一貫した構想の元に、適切な写真を必要数きりぬく。手を抜かず、細部まで細かく切りとる。 【思考・判断・表現】 構想に基づいて、適切な構成をし、そのための貼っていく順序を適切に行う				4
							合計 62

高等学校 令和 6 年度（1、3 学年用）芸術

書道 I

教科：芸術

科目：書道 I

単位数：2

対象学年組：第 1 学年 A 組

第 3 学年 A 組

教科担当者：（A組：松岡

（組：

）（組：

（組：

）（組：

（組：

）

使用教科書：（書道 I 教育出版

）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるように

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式を幅広く理解している。書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき作品を効果的に仕上げる。	書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考える。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配 数 時	
			漢	仮							
1 学 期	<p>【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果の関わりを理解する。 楷書の古典の線質、字形、構成など要素と表現効果、そして、中国の文字と書の伝統と文化について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 楷書の古典の書風に即した用筆、運筆、字形、全体構成を工夫する。 楷書の古典や臨書した作品の価値とその根拠について考え、書の良さと美しさを味わう。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 楷書の古典の特質に基づく幅広い表現を通じ、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</p>	<p>・ペン習字の基礎</p> <p>・唐の四大家</p>	○		○	<p>【知識・技能】 書の表現方法や形式・表現の多様性について理解している。 書写技能を向上させるとともに書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的技能を身につけている。〈評価方法 提出作品〉</p>	○			○	7
		九成宮醴泉銘	○		○	<p>【思考・判断・表現】 書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえる。 〈評価方法 提出作品〉</p>	○	○	○	○	7
		雁塔聖教序	○		○	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	○	7
		孔子廟堂碑	○		○		○	○	○	○	7
2 学 期	<p>【知識及び技能】 行書の古典の書風に即した用筆、運筆や線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 行書の古典に即した全体構成に工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行書の古典の良さや美しさを感じ、書に関する感性を豊かにする。</p>	<p>蘭亭序</p> <p>風信帖</p>	○		○	<p>【知識・技能】 書の表現方法や形式・表現の多様性について理解している。 書写技能を向上させるとともに書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的技能を身につけている。〈評価方法 提出作品〉</p>	○	○	○	○	17
		祭姪稿	○		○	<p>【思考・判断・表現】 書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえる。 〈評価方法 提出作品〉</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に書の表現及び鑑賞の幅</p>	○	○	○	○	17

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科情報 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2
 対象学年組： 第 2 学年 組～ 組
 教科担当者： (A組： 朝倉真実 (組：) (組：) (組：) (組：))
 使用教科書： (高校情報 I python 実教出版)
 教科 情報 の目標：

- 【知識及び技能】
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	ワード・文章の作成ができるようにする。	ワード・文章の作成	課題に真剣に取り組み、プリントと同じ文章を作成することができる	○	○	○	5
	ワード・文章の作成ができるようにする。	ワード・文章の作成	課題に真剣に取り組み、プリントと同じ文章を作成することができる	○	○	○	8
				○	○		
	ワード・文章の作成ができるようにする。	ワード・文章の作成	課題に真剣に取り組み、プリントと同じ文章を作成することができる	○	○	○	8
	ワード・文章の作成ができるようにする。	ワード・文章の作成	課題に真剣に取り組み、プリントと同じ文章を作成することができる	○	○	○	7
2 学 期	ワード・文章デザインが作成できるようにする。	ワード・文章デザインの作成	課題に真剣に取り組み、プリントと同じ文章を作成することができる	○	○	○	
	ワード・文章デザインが作成できるようにする。	ワード・文章デザインの作成	課題に真剣に取り組み、プリントと同じ文章を作成することができる	○	○	○	

3 学 期	エクセル・データベースが作成できるようにする。	エクセル・データベースの作成	課題に真剣に取り組み、プリントと同じデータベースを作成することができる	○	○	○	
							合計
							28

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科情報 情報Ⅱ

教科： 情報 科目： 情報Ⅰ 単位数： 2
 対象学年組： 第 3 学年 組～ 組
 教科担当者： (A組： 朝倉真実 (組：) (組：) (組：) (組：))
 使用教科書： ()

教科 情報 の目標：
 【知識及び技能】
 【思考力、判断力、表現力等】
 【学びに向かう力、人間性等】

科目 情報Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	プリントを使って、データを処理する。(最大値、最小値、中央値、分散、平均、標準偏差など)	エクセルを使ったデータ・統計処理	各時間ごとに課題を出し、その課題をきちんと処理できるか、その都度提出課題を評価する。	○	○	○	6
	プリントを使って、データを処理する。(最大値、最小値、中央値、分散、平均、標準偏差など)	エクセルを使ったデータ・統計処理	各時間ごとに課題を出し、その課題をきちんと処理できるか、その都度提出課題を評価する。	○	○	○	8
				○	○		
	プリントを使って、データを処理する。(最大値、最小値、中央値、分散、平均、標準偏差など)	エクセルを使ったデータ・統計処理	各時間ごとに課題を出し、その課題をきちんと処理できるか、その都度提出課題を評価する。	○	○	○	10
	プリントを使って、データを処理する。(最大値、最小値、中央値、分散、平均、標準偏差など)	エクセルを使ったデータ・統計処理	各時間ごとに課題を出し、その課題をきちんと処理できるか、その都度提出課題を評価する。	○	○	○	4
2 学 期	プリントを使って、データを処理する。(最大値、最小値、中央値、分散、平均、標準偏差など)	エクセルを使ったデータ・統計処理	各時間ごとに課題を出し、その課題をきちんと処理できるか、その都度提出課題を評価する。	○	○	○	16
	プリントを使って、データを処理する。(最大値、最小値、中央値、分散、平均、標準偏差など)	エクセルを使ったデータ・統計処理	各時間ごとに課題を出し、その課題をきちんと処理できるか、その都度提出課題を評価する。	○	○	○	12

3 学 期	プリントを使って、データを処理する。 (最大値、最小値、中央値、分散、平均、標準偏差など)	エクセルを使ったデータ・統計処理	各時間ごとに課題を出し、その課題をきちんと処理できるか、その都度提出課題を評価する。	○	○	○	14
							合計